

【開催のお知らせ】

『TOKYO FM 横山幸雄 ベートーヴェン ジルベスターコンサート』

横山幸雄(ピアノ)、山田和樹(指揮)、横浜シンフォニエッタ 出演

2011年12月31日(土)17:30～ 於:東京オペラシティ コンサートホール

TOKYO FMは、ピアニスト・横山幸雄、指揮者・山田和樹、オーケストラ・横浜シンフォニエッタを招き、東京オペラシティ コンサートホールにて、2011年12月31日(土)17時30分から2012年1月1日(日)0時45分まで、「TOKYO FM 横山幸雄 ベートーヴェン ジルベスターコンサート」を開催致します。

今年、2011年12月31日。私たちは、かつて、大きな苦難を音楽で乗り越えた偉大なる1人のアーティストの遺した曲を通じ、復興への願いを込めて、「音楽の力」「芸術の力」「生きる力」を届けたいと思います。その一人のアーティストとは、クラシックの常識を塗り替え、音楽を芸術へと昇華させたアーティスト、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン。ベートーヴェンの人生は実に波乱に満ちたものでした。父に引きずられ、困窮を極めた少年時代。その後、音楽家の命である耳が聴こえなくなったときの悲しみ、結ばれることの無かった「不滅の恋人」への失意、甥を巡る親族との争い・軋轢…。不運がいくつも積み重なった生涯の中でも、ベートーヴェンは絶望しなかったといわれています。それまでの音楽家には当たり前だった貴族の音楽を、自らの音楽へ、「芸術」へと高めました。そのベートーヴェンの作品は、今、様々な困難に直面している私たちの心に直接響くものばかりです。TOKYO FMでは、このベートーヴェンコンサートをジルベスターコンサートとして2011年を締めくくり、2012年を厳かに迎える時間として届けたいと思います。

出演は、昨年のジルベスターコンサートも大絶賛を博した横山幸雄。そして、2012、2013年にスイス・ロマンダ管弦楽団が創立以来初めて設置する、首席客演指揮者というポジションを得た、世界から今、最も熱い注目を浴びている山田和樹。横山幸雄とのコラボレーションで、伝説のコンサートとなることは間違いありません。本件、何卒ご掲載を賜りますようお願い致します。

～ TOKYO FM 横山幸雄 ベートーヴェン ジルベスターコンサート公演概要 ～

- | | |
|---------|--|
| ◎名称 | TOKYO FM 横山幸雄 ベートーヴェン ジルベスターコンサート |
| ◎日時 | 2011年12月31日(土) 開場/17時00分 開演/17時30分 終演/24時45分
[第1部] 開場/17時00分 開演/17時30分(演奏時間/17時30分～21時15分)
[第2部] 開場/21時30分 開演/22時00分(演奏時間/22時00分～24時45分)
※開場/開演、終演時間は変更になる場合があります。 |
| ◎場所 | 東京オペラシティ コンサートホール(新宿区西新宿3-20-2) |
| ◎出演 | 横山幸雄(ピアノ)、山田和樹(指揮)、横浜シンフォニエッタオーケストラ |
| ◎プログラム | 《第一部》 ピアノ協奏曲第1番 op.15
ピアノソナタ第8番 op.13「悲愴」
ピアノソナタ第14番 op.27-2「月光」
ピアノ協奏曲第2番 op.19
ピアノソナタ第17番 op.31-2「テンペスト」
ピアノ協奏曲第3番 op.37
《第二部》 ピアノソナタ第21番 op.53「ワルトシュタイン」
ピアノソナタ第23番 op.57「熱情」
ピアノ協奏曲第4番 op.58
～カウントダウン～
ピアノ協奏曲第5番 op.73「皇帝」 |
| ◎チケット料金 | [通し券] S席 12,000円、A席 9,500円(税込)
[各部券] S席 7,500円、A席 6,000円(税込) |



横山幸雄 (Yukio Yokoyama) ピアニスト

～横山幸雄よりコンサートに寄せて～

もう知っている人も多いと思うが、山田和樹はすごい。
昨年共演したときの興奮をもっともっとたくさんの人に伝えたくて、今年のジルベスター・コンサートの指揮者に指名させていただいた。
オーケストラは彼が学生時代から育て上げている横浜シンフォニエッタ。
彼らとは初共演となるから今からワクワクしている。
この日本のかつてない大変な時代だからこそ、ベートーヴェンのとてつもないエネルギーを持つ名曲を、まさにこれからの日本を背負って立つであろう若い力でもって表現したい。
そして、わずかでも今後の復興に役立つならば、一音楽家としてこれ以上の喜びはない。 横山幸雄

美しく洗練されたスタイルによる、味わい深い表現を持ち味とし、豊かな色彩感覚と緻密な構成力がかねそなえた本格派ピアニスト。1971年東京生まれ。1990年パリ国立高等音楽院卒業。同年、ショパン国際コンクールにおいて、歴代の日本人として最年少入賞の快挙以来、人気実力ともに常に音楽界をリードするトップアーティストとして、確実に自己の道を歩みつけ、大きな実りをもたらしている。活動は、古典から近現代まで、独奏曲・室内楽・協奏曲すべての分野において、圧倒的な幅の広さを誇る。内外の一流オーケストラや著名アーティストとの共演も数多く、深い信頼を得ている。また、ショパンやベートーヴェン、ラヴェルの全曲演奏会など、自ら企画する数々の意欲的な取り組みにより、高い評価を確立してきた。現在は、2010年に生誕200年を迎えるショパンのシリーズを各地で展開している。18枚におよぶCDをリリースし、それらは文化庁芸術祭レコード部門優秀賞、国際F. リスト賞レコードグランプリ最優秀賞などを受賞。近年、作曲家としても様々な作品を発表し、楽譜の校訂や単行本の出版など、執筆の分野でも示唆にとんだ著作を残している。これまで、新日鐵音楽賞フレッシュアーティスト賞、モービル音楽奨励賞、文化庁芸術選奨文部大臣新人賞など数多くの賞を受賞。上野学園大学教授、エリザベト音楽大学客員教授として、後進の指導にも意欲的にあたっている。



山田和樹 (Kazuki Yamada) 指揮者

～山田和樹よりコンサートに寄せて～

横山幸雄さんの挑戦は、登山家のそれに似ているかも知れない。
エベレスト登頂に成功したからといって、そこで挑戦が終わる訳ではなく、
次から次へと目標が沸き上がってくるのだろう。
今回、その新たな挑戦のお手伝いができることをとても嬉しく光栄に思っている。
ベートーヴェンという楽聖を前に、
横山さんと横浜シンフォニエッタと僕とでしか創り得ない世界を表出させるべく、
一音一音に魂を込めていきたい。 山田和樹

1979年、神奈川県生まれ。東京藝術大学指揮科卒業。指揮法を松尾葉子・小林研一郎の両氏に師事。2009年、第51回ブザンソン国際指揮者コンクールに優勝、併せて聴衆賞も獲得。ただちにモントルー＝ヴェヴェイ音楽祭にてBBC交響楽団を指揮してヨーロッパデビュー。同年、ミシェル・プラッソンの代役でパリ管弦楽団を指揮、再演が決定する。これまでに、サイトウキネンオーケストラをはじめ、日本国内主要オーケストラ、BBC交響楽団、BBCナショナル・ウェールズ管弦楽団、パリ管弦楽団、ルーアン歌劇場管弦楽団、スイス・ロマン管弦楽団、ベルリン放送交響楽団、サンクトペテルブルグ交響楽団、ウラルフィルハーモニー管弦楽団などへ客演。共演したソリストには、ヴァディム・レーピン、イザベル・ファウスト、堀米ゆず子、庄司紗矢香、今井信子、タマーシュ・ヴァルガ、タチアナ・ヴァシリエヴァ、ヴォルフガング・シュルツ、シプリアン・カツァリス、ブルーノ・リグット、ジャン＝フレデリック・ヌーブルジェ、ルイス＝フェルナンド・ペレス、小菅優、山下洋輔などが挙げられる。現在、NHK交響楽団副指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢ミュージック・パートナー、横浜シンフォニエッタ音楽監督、東京混声合唱団レジデンシャル・コンダクター、ローム・ミュージック・ファンデーション在外音楽研究生としてベルリンに在住。第21回出光音楽賞受賞。今後、パーミンガム市交響楽団、イギリス室内管弦楽団、イル・ド・フランス国立管弦楽団、スイス・ロマン管弦楽団、ローザンヌ室内管弦楽団、フランクフルト放送交響楽団、ザールブリュッケン放送交響楽団、ドレスデンフィルハーモニー管弦楽団、ワイマール・シュターカッペレ、プラハ交響楽団、マルメフィルハーモニー管弦楽団、サンクトペテルブルグフィルハーモニーへの客演が決定している。また、2012/13シーズンより、スイス・ロマン管弦楽団首席客演指揮者に就任予定。

横浜シンフォニエッタ(オーケストラ)



- 1998年 指揮者山田和樹(音楽監督)を中心に「TOMATOフィルハーモニー管絃楽団」として結成。東京芸術大学卒業生・在学生を中心に構成される。
創立当初より東京芸術大学内演奏会などにてベートーヴェン交響曲全曲演奏を行い話題となる。
- 1999年12月 ベートーヴェン交響曲第7番をメインプログラムとして川口リリアホールにて公式デビュー。
- 2001年 神奈川県立音楽堂にて「音楽たまたま箱シリーズ」に参加、10回目を迎えた。
- 2005年 「横浜シンフォニエッタ」に改名し、神奈川県横浜市を中心に活動するプロオーケストラとして活動を開始。
- 2008年 第1回演奏会を行い、ソリストに宮本笑里を迎え大成功をおさめる。
- 2008年 ミュージックアドバイザーに指揮者 小林研一郎氏が就任。
- 2009年 第51回ブザンソン国際指揮者コンクールにて音楽監督である山田和樹が優勝。
木野雅之(ヴァイオリン)を迎え、第2回演奏会「ブザンソン国際指揮者コンクール優勝記念」の凱旋公演を行い絶賛される。「ブラームス・ヴァイオリン協奏曲/メンデルスゾーン・ヴァイオリン協奏曲」と、「ビゼー・モーツァルト・二つのハ長調交響曲」を収録したCDを同時リリースし注目を浴びている。2010年1月「一般社団法人 横浜シンフォニエッタ」を設立し新たなステージに移っている。